

# 埼玉政連



川の国埼玉フォトコンテスト第1回ジュニア部門  
「荒川の自然と船」(荒川・さいたま市) 野島 佑紀

## 目次

- 1 会長ご挨拶  
埼玉県不動産政治連盟 会長 三輪 昭彦
- 2 活動成果報告  
登記事項証明書等交付手数料値下げが実現！
- 3 活動成果報告  
賃貸住宅居住安定化法案の見直し・修正に13万人の署名が集まる
- 4 第41回年次大会開催報告
- 5 編集後記

# ご挨拶



埼玉県不動産政治連盟

会長 三輪 昭彦

会員の皆様、日頃より本会活動に格別のご高配とご理解を賜り、厚く御礼を申し上げます。

このたびの東日本大震災におきまして、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

本県では、多数の負傷者が発生し、家屋損壊や土地の液状化現象が起きるなどの被害を受け、さらに電力不足による計画停電が実施されたことから、県民の生活や経済に大きく影響を与えました。

このような未曾有の危機の中、被災地で一刻も早い復興に役立てていただけるよう、本会では被災した3県の不動産政治連盟に義援金をお送りいたしました。また全国不動産政治連盟でも、義援金を送ったほか、本県選出の細川厚生労働大臣や大畠国土交通大臣などに対して、震災復興に関する要望書を手渡し、迅速な対応を要請しました。このほか、民主党国土交通部会及び国土交通委員会のメンバーと意見交換やヒアリングを行い、被災者への住宅手当てについての意見を申し上げたところ、着実な成果が挙がっております。

被災地の復興に向けた支援は、皆が一致団結して行うべきでありますので、今後も復興状況の推移を見極めながら、復興支援を継続して参ります。

4月に行われました統一地方選挙におきましては、本会が推薦した候補者の多くが当選しましたことをご報告申し上げますとともに、会員の皆様におかれましては、本会の活動にご理解とご協力を賜りまして、感謝申し上げます。県議会議員選挙では、最大会派である自由民主党が多くの議席を獲得し、県政与党の座を守りました。市町村議会議員選挙では、会員である候補者に選挙応援を行ったところ、多くの候補者が当選しました。今後も自民党所属の県議会議員で構成する宅建懇話会や会員で市町村議会議員にて構成する宅建議員連盟と連携協力しながら、活動を進めて参ります。

また5月27日に開催されました第41回年次大会におきましては、全議案可決承認されたことを感謝申し上げます。今年度は宅建業界における要望活動のほか、東日本大震災の復興支援や年次大会代議員制移行に向け、細部の検討を行って参ります。従来から業協会・保証協会の総会同日開催しておりましたが、業協会公益法人改革に伴い、開催日を政治連盟と分離しなければならないため、その措置として平成24年度より開催日を分離し、さらに代議員総会を導入することになりました。今後も皆様のご意見やご要望を賜りながら、要望活動などを積極的に実施して参りますので、引き続き皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

最後に皆様の益々のご健勝とご商売のご繁栄を心よりご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## 活動成果報告

### 登記事項証明書等 交付手数料

**最大 30%の値下げ  
を実現!!**

**本会の要望活動の成果が実る!!**

本会がかねてより要望しておりました登記事項証明書等の交付手数料が、平成23年4月1日より値下げされました。特に登記事項証明書では、交付手数料が1,000円から300円値下げされ、700円に改定されるなど30%の値下げを実現しました。

登記事項証明書の交付手数料は、昭和60年当時は350円でしたが、平成5年に800円に値上げされ、さらに平成10年に登記所の窓口業務の迅速化を目的に登記情報の電算化やシステム構築、地図のコンピュータ化を行うことを理由に1,000円に値上げされていました。当初の計画では平成20年頃にシステム構築が完了する予定でしたが、法務省ではシステムの再構築を理由に値下げに応じていませんでした。

我々、宅建業者は、業務において登記事項証明書の取得枚数が多く、交付手数料は住民票などの公的証明書に比べて高額であることから、円滑な宅地建物取引の妨げになっているため、本会では一刻も早く手数料の値下げをするように求めていました。

本会では、全国の都道府県不動産政治連盟に先駆けて登記手数料の値下げに関する活動を実施していましたが、上部団体である全国不動産政治連盟（以下、

全政連）に対して法務省や関係機関への働き掛けを行うよう要請したところ、本会の要請が受け入れられ、平成13年から全政連及び全国の都道府県政治連盟と連携し値下げに関する要望活動を粘り強く進めて参りました。そして登記情報システムの再構築や地図のコンピュータ化が平成22年度をもって完了することによって値下げが決定しました。

これらは、会員の皆様のご支援とご協力のもと、我々が一丸となって粘り強く活動を展開した成果が実を結んだものであると思います。皆様のご支援とご協力に厚く御礼を申し上げます。

しかし値下げされた金額であっても、住民票など他の公的証明書の交付手数料と比較するとまだまだ高額ですので、引き続き交付手数料の値下げの働き掛けを行うべく、活動を継続して参りますので、引き続き皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

#### 登記事項証明書等交付手数料の値下げ一例

区 分		改定前	改定後
登記事項証明書	窓 口	1,000円	700円
	オンライン請求	700円	570円
印鑑証明書	窓 口	500円	現行通り
	オンライン請求	500円	460円
オンライン 登記情報提供	窓 口	440円	380円
	オンライン請求	430円	410円

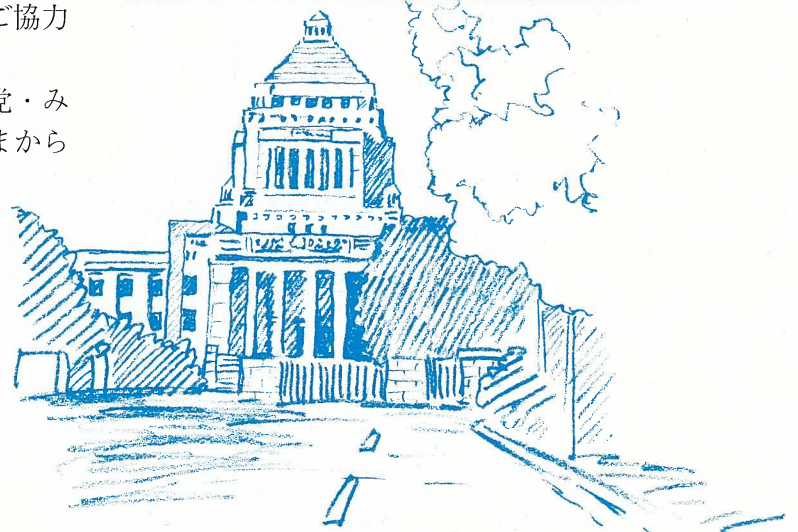
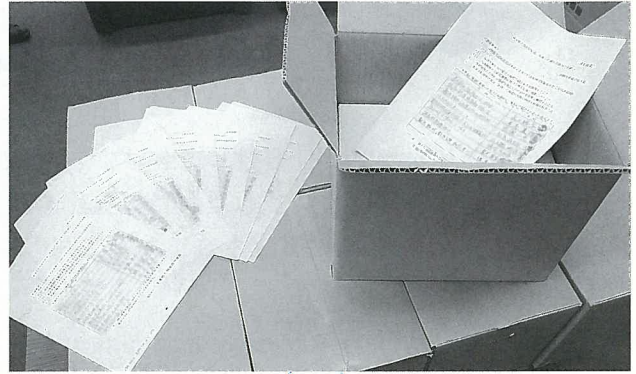
# 賃貸住宅居住安定化法案の見直し・修正に 約13万人の署名が集まりました

昨年10月に全国不動産政治連盟の依頼を受けて、賃貸住宅居住安定化法案の見直し・修正を求める署名活動を実施いたしました。全国の皆様のご協力により約13万人の署名が集まりました。

2月発行の広報誌にて署名活動についての報告を致しましたが、その後も本県を含む全国の方から署名が寄せられ、最終集計では12万9,634名（うち本県では7,566名）の署名を頂きました。署名の趣旨に賛同いただきました皆様のご支援とご協力に厚く御礼を申し上げます。

全政連では、民主党・自由民主党・公明党・みんなの党の各党の有力議員に対して、皆さまからいただいた署名を添えて、働き掛けを行ったところ、我々の見解に賛同いただける意見を得ることができました。

賃貸住宅居住安定化法案の審議は、東日本大震災によって国会審議が継続中になっておりますが、今後も国会動向に注視し、法案の見直し・修正を訴えて参ります。



## 三輪全政連幹事長活動日誌

日程	会議等内容	日程	会議等内容
1月24日	全政連 政策提言活動に関する検討会	3月24日	全宅連 政策推進委員会
1月27日	全政連 総務財務副委員長会	3月25日	全政連 正副会長会打合せ会
2月7日	全政連 意見交換会	3月28日	全政連 役員会
2月10日	国土交通省ヒヤリング	4月7日	民主党国土交通部会ヒヤリング
2月21日	公明党との懇談会	4月21日	民主党との懇談会
2月23日	全政連 総務財務正副委員長会	4月27日	東日本大震災のお見舞い及び被災状況視察 (福島県)
2月24日	全政連 正副会長会 総務財務委員会	5月6日	東日本大震災のお見舞い及び被災状況視察 (岩手県・宮城県)
3月1日	全政連 都道府県政連会長会議	5月10日	全宅連 政策推進委員会
3月2日	全政連 正副会長会	5月13日	全政連 監査会
3月16日	全政連 緊急正副会長会 総務財務委員会	5月19日	全政連 正副会長・総務財務委員会合同会

# —第41回年次大会開催報告—

## 全議案可決承認！ 年次大会代議員制移行が承認される



上田知事へ今夏の知事選出馬要請！

5月27日(金)、さいたま市浦和区の浦和ロイヤルパインズホテルにおきまして、第41回年次大会に会員3,956名（うち委任状提出者3,768名）が出席し、盛大に開催いたしました。

年次大会の開催前には、三輪会長から来賓でお越しいただいた上田清司埼玉県知事へ7月に行われる埼玉県知事選挙に対する本会の推薦状を手渡し、県知事選挙への出馬要請を行いました。

年次大会は、白井副幹事長の司会進行で始まり、

議長に保坂副会長、副議長に河井副会長が就任し、議事進行を行いました。

審議事項では、三上幹事長と榎本総務財務委員長より平成22年度活動報告書や収支決算書の承認について提案説明を行い、両議案とも挙手多数により可決承認をいただきました。

続いて第3号議案では、年次大会の代議員制移行承認についての審議が行われ、挙手多数により可決承認されました。この案件は、業協会の公益法人改革に伴い、業協会・保証協会と同日開催していた年次大会を異なる日程で開催しなければならないことと、年次大会開催経費の削減を目的に代議員制を導入するために検討されたものです。

さらに平成23年度活動方針大綱(案)と平成23年度収支予算書(案)の承認について審議が行われ、両議案とも挙手多数により可決承認されました。

最後に室岡副会長による閉会挨拶が行われ、年次大会は終了しました。



左 保坂議長 右 河井副議長



提案説明 三上幹事長



提案説明 榎本委員長



監査報告 三井監事

### 〈審議事項〉

- 第1号議案 平成22年度活動報告書承認に関する件
- 第2号議案 平成22年度収支決算書承認に関する件  
監査報告
- 第3号議案 年次大会代議員制移行承認に関する件
- 第4号議案 平成23年度活動方針大綱(案)承認に関する件
- 第5号議案 平成23年度収支予算書(案)承認に関する件

付議事項

※開催当時、上田知事は知事選への出馬表明をしておらず、本会では出馬要請を行いました。なお、上田知事は6月24日に正式な出馬表明をしております。

※議題内容につきましては、5月の会員直送便に同封しました議案書をご参照ください。

## 表紙 の 写真

広大な関東平野を流れる荒川は、幹川流路延長が秩父山地から東京湾まで173キロあり、埼玉・東京の人口密集地を流れることから、治水・利水が重要な河川です。太古から大自然の恵みを与えてくれる一方、増水による洪水によって「荒ぶる川」に変貌すると人々の生命や財産を奪う水害も与えてきました。古くは鎌倉時代から治水工事が行われ、現在も台風などの自然災害に備えた工事が続けられています。

写真の右上を流れる川は荒川、左上を流れているのは入間川です。それぞれの川が合わさり、終点の東京湾まで注いでいきます。川沿いは緑が多く自然が残っており、河川敷には野球場やゴルフ場などの運動場などが整備されているので、県民や都民の憩いの場にもなっています。



荒川の自然と船  
(荒川・さいたま市)

## \* 編集後記

広報委員  
江原利男（越谷地区）

梅雨の時期は不快指数が高まり人間の生活にとっては、うとうしい季節でもあります。しかし、自然界の植物にとっては大事な恵みの季節であり、私たち人間に木々の新緑や、きれいな花を見せてくれます。越谷市は市街化区域と調整区域が約50%の割合で構成され、市街地周辺には農地である田んぼが見受けられることから、この時期はカエルの合唱がよく聞こえてきます。水郷越谷と言われるように稲作に適した地域でもあり、元荒川をはじめ農業用水には満面に張られた用水が見る者のところをなごませてくれます。

## 埼玉連への ご意見・ご要望募集中

埼玉連では、本会活動に会員の皆様の声を反映させる為、ご意見・ご要望を募集しています。

税制・開発行政の問題点や規制緩和策などがございましたら、どしどし下記まで御電話又はFAX・電子メールにて、お寄せください。

TEL 048-811-1816

FAX 048-883-2000

e-mail:saiseiren@saiseiren.jp

よりよい誌面に!!



熱気あふれる  
編集会議

### 編集委員

役職	氏名	所属地区名
担当副会長	小池 東司	さいたま浦和
委員長	榎本 隆雄	埼玉東
副委員長	三平 實	埼玉西部
委員	鈴木 純	本庄
//	江原 利男	越谷
//	高橋 了吉	埼玉葛
//	馬場 準	彩西
//	岩田 和幸	秩父
幹事長	三上 豊	川口
副幹事長	臼井 章	大宮



■平成23年7月20日発行 ■発行所 埼玉県不動産政治連盟

●発行人 三輪 昭彦

●編集人 榎本隆雄

〒330-0055 埼玉県さいたま市浦和区東高砂町6-15

電話 048-811-1816（直通） FAX 048-883-2000

ホームページURL <http://www.saiseiren.or.jp>